



香葉

第18号

通算49号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 〒236-8503

横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail: kouyokai@nifty.com

URL http://koyokai.shonan.cc

香葉会の解散について

香葉会は2022年12月31日を以って解散することを予定しております。

短大が大学に改組され、新入会員の加入がなくなってから2022年で20年となります。この間、役員の数々の入れ替わりはあったものの、高齢化が進んでいることは否めず現体制での継続が困難であり、きちんと解散して終わるタイムリミットと判断しました。

ただ、「香葉」の発行やホームページを通して会員の皆様からは常に温かいお声をいただいております、これまで公に新役員を募ったこともないことから、下記の条件を満たしてくださる方たちがいらっしゃれば運営をお任せする道も探りたいと考えます。

1. 関東学院女子短期大学の同窓会として、全体のことを考えていただけること。
2. 会長、副会長を含め少なくとも10名以上の役員、編集委員を新規で集められ、1名程度の事務員を定期的（週2～3回）に香葉会室に常駐させられること。
（会員の名簿管理、ホームページの編集等のスキルのある方が1名以上必要です）
3. 新体制発足後、少なくとも10年の継続を約束していただけること。
4. 学院及び関東学院同窓会との関係をこれまで通り継続していただけること※

※香葉会から学校法人関東学院の評議員を2名選出しています。

関東学院同窓会とは、大学、中高2校、小学校2校と短大6団体の合同の同窓会で、定期的に幹事会を開催、共同で学院に協力しています。

～具体的な活動内容についてなど、質問のある方は香葉会までE-mailにてお問合せください～

尚、解散の前にはお別れ会となるイベントを開催する予定です。詳細は来年の香葉19号及びホームページでお知らせします。

大学は2021年4月、大学院栄養学研究科の開設を目指しています【設置認可申請中】

■**栄養学研究科栄養学専攻（修士課程）**

- 入学定員：5名
- 学位：修士（栄養学）
- 修学キャンパス：横浜金沢八景キャンパス
※「昼夜開講制」「長期履修制度」により社会人の学修を支援します



- 教育内容・教員等：現在、栄養学研究科WEBサイトを準備中

※文部科学省の設置認可後に学生募集を開始します。資料を希望される方は、アドミッションセンター（045-786-7019）までご連絡ください。

香葉賞報告

2019年度の香葉賞は2020年3月24日に大学金沢八景室の木キャンパスで、各学部・学科それぞれ1名に授与されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため卒業式も卒業パーティも中止となりましたが、短大の流れを汲む学部・学科生は、教室での学位等授与式にほぼ全員が出席し巣立って行きました。これからも困難に負けずに、と願っています。

企画の中止

香葉会解散に伴い、今年は企画が実施できる最後の年と考えていましたが、今年度の香葉会企画は全て中止いたします。長年ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

会長挨拶

山口 佳子 (国1回)



皆様、こんにちは。

まずは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられたすべてのの方々に心からお見舞いを申し上げます。

関東学院全体も大きな影響を受けましたが、園児、児童、生徒、学生への迅速な対策を講じました。

さて、二〇〇四年三月一七日、最後の卒業生が涙と笑顔で巣立ち五〇余年にわたる短大の歴史が閉じられました。一八号※を手に取られた方は、「香葉」一面での「香葉会解散について」の文字に少なからず驚かれたことと思います。

一九六〇年燦葉会支部として、支部長田中実子さん、そして一九七〇年「香葉会」の名称で短大同窓会発足後改組迄、実に三三年間活動の中心を担ってこられた古城房子さんに敬意と感謝を捧げます。

短大の卒業生は二万九千人余を数えます。卒業した方々に「短大」と

いう名称はなくても、私たちには関東学院という基盤があり、誇りにしてほしいという思いを持って「香葉会」という短大同窓会を続けて参りました。

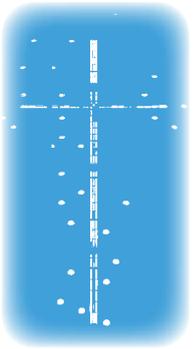
改組後も、毎年賛助金を振り込んでくださった方々、独自の活動を共に働いてくださった役員の皆様、戦友ともいえる方達に感謝を捧げます。

今号には企画、天城山荘ツアーにご参加いただいた方々の感想を掲載させていただきました。短大での二年の「時」が青春そのものであり、この二年があるからこそ「今」があるということを感じの一つ一つの言葉に見ることが出来、大きな感動を抱いています。

「香葉」一八号までの号に載せた鬼籍に入られた先生方のお名前を、また先生方の思い出の文章を読むたび、教室での講義の様子やアドバイザー時の笑顔が浮かんで参ります。柔らかな陽ざしの中、厳しくも守られていた学生時代であったことを、今頃、痛感しています。

その感慨を集大成とし一冊の本にまとめ「香葉とともに」として発行したいと思えます。それが私たちの最後の活動と考えております。ぜひ一文をお寄せください。

※新生「香葉」創刊号は二〇〇三年一〇月タブロイド判として発行



「香葉とともに」原稿大募集!

香葉会として最後の刊行物です。卒業生皆さんからの「思い」を是非お寄せください。短大時代の思い出、懐かしい恩師・友人へ、クラブ活動、現在の自分、子育て記等々。短大を通してあなたの足跡をこの冊子に残してください。

また、各科のページも作りますので、内容についてのご意見や、編集作業へのご支援をいただけると嬉しいです。

詳細は香葉会ホームページ参照、またはEメールやお電話でお気軽にお問い合わせください。

天城山荘 日帰りバスツアー

天城山荘ツアーは（香葉会として前回二〇一四年に開催）二〇一七年から準備し、申し込みされた方ほぼ全員が出席してくださいました。

「本日は皆さん十八歳に戻って！」と山口会長の挨拶で始まりました。これ以上ない晴天に恵まれ、朝早くからのスケジュールも順調に進み、解散場所の大船駅へは予定時間ピッタリの午後七時三〇分到着、という神業運転手さんに自然と拍手が沸きました。

山荘のスタッフ皆さんも学生時代と変わらない暖かさで迎えてくださ



り、美味しいお食事とソフトクリーム、ビショップ・ガイ牧師からの講話と祈り、讚美歌三二二「いつくしみ深き」を皆で歌いました。滞在時間は二時間半ほどでしたが参加者それぞれ「天城山荘」を満喫しました。浄蓮の滝でマイナスイオンを浴び、道の駅でお買い物も楽しみました。参加者全員が無事にツアーを終えることができ、役員一同胸をなでおろし、そして大変充実した一日でした。





た。皆さんありがとうございます(う)ございました!

●天城山荘と短大

短大が天城山荘で修養会として研修を始めたのは一九五四(S二九)年、天城山荘創業の年でした。以来短大が改組するまでの四八年間、毎年短大生全員がお世話になりました。(一九五五(S三〇)年から「リトリート」と名称変更)

天城山荘は日本バプテスト連盟の施設で、敗戦後日本の青少年たちのための研修施設を与えたいと横浜の在日米軍婦人たちが願い、働いた給与全てを土地購入資金として当時のグループの信仰の指導者だったミセス・M・B・ドージャーに託しました。その逸話を聞いた息子のE・B・ドージャー宣教師が連盟に働きかけ、米国南部バプテスト伝道局に依頼して誕生しました。

た。三つの宿泊棟、大小食堂、四〇〇名収容の大チャペル、体育館、グラウンドを有します。(天城山荘ホームページより抜粋)



特別寄稿

栄光あれ！天城山荘の大チャペル棟

精木 勇

秋晴れの美しい日二〇一九年二月一六日。香葉会企画の日帰り旅行に参加。大船バスロータリーから、およそ五〇人が大小二台のバスに分乗。天城山荘に着く。降りるとすぐに大きい瓦葺き木造建築が眼に入る。山荘の昼食を楽しんだ後、長い廊下を経て先ほど気づいた和風建物の中にある大礼拝堂(大チャペル)へ。最前列に着席、室内全体をぐるりと見回す。天空の光を取り入れた講壇・木造で大架構の小屋組・外光を室内



に均質的に取り込む大きな窓々・円形シャンデリア・四、五百人は収容する大空間。講壇の架構をミニ画帳にスケッチする。この空間はどこかフランク・ロイド・ライトの香りがする！チャプレンが見えるまでの間、室内観察に余念がなかった。チャプレン講話後、山荘の事務室に行き「建築家の名は・資料は？」と聞く。「わからない、ない」で期待は外れる。その後自分で調べて確認できたことを紹介する。

その建築家の名は 吉原 正

よしわら ただし 一九二二〜二

〇一四。日立市生まれ。一九四二旧横浜高等工業学校(現横浜国立大学工学部建築)卒業し直ちに鹿島建設(株)設計部。一九四九〜五三に遠藤新建築創作所に出向で働く。一九五九には工学院大学の天野太郎研究室。同大建築学科の講師も歴任。やがて一九六七年天野・吉原設計事務所代表取締役に。一九九〇天野太郎亡き後、吉原設計事務所を主宰。天城山荘は一九六四年完成、吉原正が四二歳の頃である。吉原に密接な交流があった日本の建築家に遠藤新と天野太郎

がいたということに気付く。兩人とも鹿島建設設計部から遠藤新建築創作所に出向している。帝国ホテル設計に関わったかもしれないが定かではない。遠藤新は世界に名高いアメリカの建築家フランク・ロイド・ライトの弟子。天野、吉原も出向期間中、遠藤新から間接的にライトの流儀を汲んだ建築家になったと推察する。天野太郎と吉原正は、鹿島建設設計部以来生涯にわたって密接な関係が続いたことを知る。

結論・天城山荘大チャペル棟設計は建築家吉原正。この大チャペル棟は日本現代建築の文化遺産であると大いに誇って良いと思う。

(註一) 遠藤新(一八八九〜一九五二) 福島生まれ。東京帝大建築学科卒後、フランク・ロイド・ライトの弟子。帝国ホテルの設計が工費が高むとの理由でライトは任を下ろされ、遠藤

がその後の設計監理を引き継いで完成。代表作は自由学園目白講堂及び南沢キャンパス・甲子園ホテル(註二)天野太郎(一九一八〜一九九〇) 広島生まれ。早大建築学科卒一九四五。同年鹿島建設(株)設計部。一九四九〜五一遠藤新の事務所に出向。自由学園高等部など担当。一九五二〜五三フランク・ロイド・ライトに師事。工学院大、東京芸大で教鞭を執る。

一九六七年天野・吉原設計事務所(代表取締役吉原正) 〇主たる資料出典「wikipedia」を用いて本文を構成する。

(あ) べき いさむ・元関東学院女子短期大学非常勤講師・AIA主宰

ツアー参加者感想

なつかしい天城山荘は、短大時代の空気を送ってくれました。係の方々細やかな計画とお世話、心より御礼申し上げます。さすが関東の方「人になれ 奉仕せよ」の精神ですネ。いい一日でした。心より感謝！H・K (英18)

初めての参加で天城山荘にて、大変なつかしい時をすごせ、短大生に戻った気持ちになれました。ありがとうございました。石田順子 (英27)

素晴らしい企画に感謝しております。初対面であっても同窓生はうちとけるのも早く楽しいひと時を過ごすことができました。数年後、又、是非参加したいです。山本桂子 (英23)

卒業して55年も経ち、なつかしい学生生活を思い出しました。天城山荘へ初めて行った時、キリスト教にも縁がなかった生活でしたが、心落ち着くすがすがしい気持ちを味わったことを思い出しました。いつまで経っても青春時代のフレッシュな気持ちをもちつづけたと思います。お世話になりました。相澤節子 (英14)

たのしい一日をありがとうございました。相原梅子 (英14)

晴天の下、五十年前にタイムスリップ。楽しい一日をありがとうございました。ずっと香葉会とお付き合いがありませんでした。住所不明でしたので・・・外国に住んでいました。長女も短大英文科卒ですが、お便り頂いていないのかもしれませんが。これからはどうぞよろしく願いいたします。酒井糸つ子 (英18)

もう一度行きたかった所に行く事が出来て本当に幸福です。関東学院での楽しかった日々が思い出されます。SM

好天にめぐまれて天城山ツアー、一日楽しませて頂きました。有難うございました。天城山荘学生時代にタイムスリップしたようです。匿名

細やかで笑顔を下さる幹事の皆様に心から感謝申し上げます。久しぶりのチャペルでのお祈りやお話、嬉しい一日となりました。晴天も神様の贈り物だったのでしょうか。拝。匿名 (英18)

今日は楽しかったです。年代を越えいろいろな先輩後輩たちと会話が出来何年かぶりの同級生にも。この楽しい機会を企画して下さい感謝です。役員の方々、お世話様です。又、何かの折お声かけて下さい。高石和枝 (国4)



十数年ぶりの懐かしい天城山荘の訪問は牧師様のおもてなしに感謝です。今回の旅は何と言っても素晴らしいお天気と富士山が一日中素晴らしい姿でした。一日楽しく過ごすことができました。企画・準備・お世話色々ありがとうございました。YK (英14)

今日はありがとうございました。懐かしい天城山荘に行く事が出来とても感激しました。只、それぞれの休憩時間が少し長すぎたかな？と感じました。でも次の企画がありましたら、又、是非参加したいと思いました。宜しく願い致します。坂元珠美 (国4)

お天気に大変恵まれ天城山荘なつかしかったです。とても楽しい1日を過ごせました。ありがとうございました。お世話役さんありがとうございました。匿名 (家23)

17年ぶりの炊きこみごはん、ソフトクリーム、讚美歌に心が豊かになった気分です。「金モクセイの木が大きくなっている」と矢嶋先生と話していました。私たちがまだまだ成長したいね」とお互いを元気づけました。皆さんが短大時代の思い出を大切になさっていることが感じられこちらも嬉しくなりました。幹事のみなさんありがとうございました。牧野宏子 (元教員)

本日は晴天で学生時代にもどって天城山荘を又見学でき、大変楽しい1日でした。役員の皆様本当にありがとうございました!!匿名

今日は参加させていただきありがとうございました。一年前から楽しみにしていました。楽しみにしていた以上に楽しかったです。今まで同窓会に不義理をしてきましたが、こんなにいただき恩返しをしたい気持ちです。いろいろありがとうございました。本庄由佳 (家36)



本日は素敵な機会を作ってくださいまして有難うございました。卒業から30年余り、記憶をたどりながら過した天城山荘。楽しい時間でした。又、このようなイベントがありましたら参加させて頂きたいと存じます。宜しく願い致します。匿名 (家36)

お世話になりました。楽しい一日でした。ありがとうございました。匿名

天城山荘と聞いてすぐ行きたいなあと思い申し込みました。50年近くたった現在の私を今日はすっかり昔にもどしていただきました。18才の頃!!本当に感激です。あこがれだったソフトクリーム、おいしいお食事をいただき、短大(同窓会)を続けて下さった経緯をお聞きして本当に感謝いっぱい!!です。おこころづかいありがとうございました。元気をいただきありがとうございました。渡辺紘子 (英13)

青春の時がよみがえるなつかしいひとときでした。ありがとうございました。T

昨年より参加したいと思っていました。今年妹と参加出来て良かったです。思いがけず生まれた市も町内も近くの方にお会い出来ました。その方はイギリスから来られた方でお話をしていく内に私の従妹の嫁ぎ先の親戚の方でした。神さまのおぼしめでしょうか。とてもおどろきました。とても良い一日でした。石塚サナ江 (英13)



お疲れ様でした!!初めての参加で、とても楽しく過ごさせていただきました。正直、天城山荘の記憶は全くないのですが、大チャペルの建築様式には感動しました。(短大卒業後デザイン関連の方面に進み、知識を養ったので)今回を機会にいろいろなイベントに顔出せたらなと思いました。ありがとうございました!!匿名 (家36)

楽しみにしていた天城山荘ツアー。好天気に恵まれて、富士山も一日中歓迎してくれ、なんと幸せな一日だった事だろう!60前に訪れた時以来だったのでその変わり様にビックリ。沢山の建物広い敷地、教会も木造の建物で落ち着いた感じが温かみを感じました。ありがとうございました!!中村紀佐子 (英10)

初めて参加させて頂きました。天城山荘ツアーとうかがい、なつかしい気持ちで一杯になりました。なつかしい食堂で昼食をとり、その後のソフトクリームは昔と変わりません。その後礼拝堂に入るとなりの友人が18才に見えるから不思議です。お天気にも恵まれ、参加された方々と親しくお話が出来、とてもよい1日を過ごすことが出来ました。次回も機会がありましたら参加させて頂きたいと思えます。齊藤奈保美(英18)

小春日和の一日久し振りに充実した時をすごさせていただきました。年とともに日常の変化が少なくなります。建物は変わっても思い出をたどって行くと、なつかしくも楽しかった昔をしのばせるには十分な風景でした。集いに参加したのは10回生2人でしたが、年をわすれてすごせた一日でした。初めて参加した修養会の朝にいただいたシナモントーストの香りを思い出し、時折作ってなつかしんであります。佐藤美代(家10)

本日はありがとうございました。このような企画に参加するのは初めてでしたが、思い出の天城山荘に行く事ができてとても楽しい1日でした。本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。木村葉子(英22)

思いがけずこのバス旅行に参加させて頂きました。先輩方と和気あいあいと過ごしたひとは格別でした。お天気に恵まれた事も幸いでした。役員の方々のご尽力に感謝いたします。ありがとうございました。K・H(国12)

たのしみにしていた天城山荘ツアー。お天気にも恵まれずてきな一日を過ごすことが出来ました。当時の記憶は友との楽しい語らいとチャペルしか無かったけど本日新しい思い出ができました。すてきな企画をありがとうございました。S(幼12)

昨日は本当に楽しい天城山荘ツアーを実現させて頂きまして有難う御座いました。参加させて頂いたく前は自分の年がとも気になっておりましたが いざツアーが始まってみると年の壁を感じずに他の若い卒業生達と御喋りが出来てよこんであります。幹事さんたちはこの1年このツアーのためにお時間を使い大変だったと思います。幹事さんたちには100点満点ではなく200点満点を差し上げたいと思います。本当に有難う御座いました。Kazuko Wood(英11)

香葉会事務局幹事様

本日は大変お世話になりました。そして準備やお心遣いを賜わりありがとうございました。御礼と感謝を申し上げます。普段はお話をする機会がほとんどないためこのツアーはととても有意義な一日となりました。匿名

学生時代にもどりの楽しい1日でした。久し振りの天城山荘とてもなつかしかったです。本当にお世話様になりました。ありがとうございます。良い企画をありがとうございました。役員の方のお蔭で学校とのつながりがあり、ありがとうございます。匿名

久し振りのバス旅行。短大の友達と行けるといってとても楽しみにしていました。当日は秋晴れで、とてもさわやかな気候でした。天城山荘のチャペルはどこか懐かしく、心が洗われるようでした。ランチも美味しく頂きました。浄蓮の滝はマイナスイオンを浴びさわやかな気分になりました。本当に楽しい一日となりました。役員の方お疲れさまでした。YH(幼12)

1年のうちでも最も快適な日の伊豆旅行でした。思いがけなかったのは天城山荘の木造瓦葺和風チャペルのデザインの優れた姿でした。ここで短大学生がリトリートをもち、礼拝をしたことは、至福なことだったのです。企画は大変良かったです。感謝します。楢木勇(元教員)

久しぶりに行った天城山荘、学生時代の印象とは違って、いろいろ思いをめぐらしました。当時の味をよみがえられたソフトクリームとても美味しかったです。今回このツアーに参加出来ました事とても感謝しています。この会を企画していただいた方ありがとうございました。C・K(英14)

好天に恵まれ30年ぶりの天城山荘を楽しみに大船に着き、役員の方に親切にいただき初めての香葉会の旅に参加することができました。天城山荘ではおいしいランチをいただき特に炊き込みごはん、ソフトクリームおいしかったです。チャペルに入るととてもすてきで牧師さんが同じ年だったのでびっくりしました。浄蓮の滝ではマイナスイオンを浴びリフレッシュできました。役員のみならずすてきな計画進行ありがとうございました。楽しい一日を過ごすことができました。YM(幼12)

お世話になりました。楽しい一日でした。平日でしたら、車も混雑が少なかったかなと思います。幹事の皆様ありがとうございました。松浦きぬ江(英17)

快晴に恵まれ、その上、役員の方々の細やかな準備のお陰で素晴らしい一日を過ごすことができました。感謝します。そしてお疲れ様でした。天城山荘、浄蓮の滝では懐かしいいろいろな事を思い出しました。念願が叶い嬉しい日でした。同窓、同期というだけで他学科の方々と親しく出来て楽しかったです。富士山も道づれでこれもプラス要因でした。M.D(国7)

- (1) 案内状：100点
- (2) バス(トイレもう一か所、念のため!!)
- (3) 食事：海老が嬉しかった!!(コーヒー100点)おつけものが…欲しいです(少しだけ)
- (4) チャペル：夢に見たリトリートそのものです。(讃美歌)(礼拝)同僚の顔(亡くなった方も)が浮かびました。～同じ机と椅子に感動しました～
- (5) お買い物：最高でした!!!
- (6) 総合得点：200点です!幹事の皆様、ありがとうございました。矢嶋道文(元教員)

良いお天気に恵まれ懐かしい顔ぶれの方々にお会いできて良かったです。天城山荘での食事も皆様と出来ましたしとても良かったです。山荘に来れたという事は自分が健康であるという事、うれしく思います。S・A(英13)





留学から就職を経て米国民に

杉村 まり (英42回)



同僚に麻雀を指導する杉村まりさん。背景には中国系米国の同僚の休憩室の一角。

関東学院女子短期大学英文科を卒業し、その年からスタートした編入留学制度を利用したのが今から二七年前の一九九三年です。永住を目指していたわけではなく、大学卒業後に米国内で就職するという選択肢があることすら認識していませんでした。当時はまだスマホはおろか、インターネットも普及しておらず、Eメールアドレスも持っていませんでした。そんな状態で大学を卒業した後、地方新聞や日系コミュニティ向けのフリーペーパーなどで情報収集し、就労ビザのサポートを受けることができる仕事を探しました。特筆するようなスキルがあるわけでもなく、英語での意思疎通が何の苦勞もなくできるというほどでもなかったのですが、短大を卒業してからわずか二年半ほどで、ニューヨーク州内にある日系企業に就職できたのはラッキーでした。それを足がかりに、その二年半後には大学院へ進学、更に修士号取得後に再就職などを経て、二〇〇三年から企業向けソフトウェア開発販売会社へテクニカルサポー

トエンジニアとして入社し、現在に至っています。

類は友を呼ぶということでしょうか。日本での最終学歴が短大の英文科という人で、米国内の大学を卒業、その後自力で就職し、雇い主をスポンサーに永住権を取得して活躍している人に何人か出会いました。関東学院では女子短大がなくなってしまうたようですが、ハタチまでに日本ですっかりと「一般常識と生活できる程度の英語力」を身に付けておくというのは、その後国外で活躍するための基礎としてとてもいいアプローチです。実は当時、所謂有名校や四年制大学に入学できなかった現実を自嘲気味に話すことが多かったのですが、あの二年間で女子短大でなければ経験できなかったことが多くあり、それが今までの困難を乗り越えるのに役に立ってきたと最近になってよく思います。「女性が働くというのはどういうことか」や「戦争が女性にもたらす影響」など、淡々と向き合う時間があつたことで、自分の方向性や考え方を、恣意的なアドバイザー達にコントロールされずに済みました。自分を持てたお陰で、それなりに納得の行く現在の暮らしぶりに落ち着けたと思うのです。なんだか大げさな表現になってしまいましたが、短大での時間は本当に感謝しています。



猫との暮らしも長くなりました。

ことがあり、一旦、東京支社への勤務を命じられていた時期がありました。そこからまた米国内勤務に戻ることにした後、二〇〇八年頃にアジアパシフィック地域のテックリワードという役職についていました。米国外の関連会社からの転勤者で、国際的な仕事をする管理職へは、永住権が出やすいので、二〇〇九年までには永住権を取ることができました。その頃はシンガポール、中国、韓国更には日本への出張も任され、それぞれでお客様や現地従業員向けにプレゼンテーションをするなど、様々な出会いもあり、とても充実した時期でした。

その後アジア地区の仕事は中国の支社が担当することになり、私はまた米国内の顧客担当に戻ったのですが、最近の取引先には昨今話題のGAFAMも含まれています。そのうちの「社」、Facebookも私が担当していた時期があり、シリコンバレーの本社へ一週間出張する機会がありました。今はコロナ禍ですっかり様変わりしたことと思いますが、キャンプス（サンノゼ辺りのIT企業は自社敷地内をそう呼ぶようです）で提供されていた無料の食事やデザート。更にはちょっとしたゲームセンターなども、他の従業員に混じって一週間毎日堪能してきました。他にも出張先がアリゾナだった際には、仕事後に休暇を取ってセドナまで足をのびたり、ボストンの時は近くに住む従兄弟のうちのを訪ねたり。また、会社が主催するイベントがラスベガスやマイアミで開催されること

が多かったので、それらの地へは合計十度以上訪れています。

私生活では渡米後七年目ほど知り合った韓国出身の男性と長い間事実婚状態だったので、彼の永住権取得を手伝うために、二〇一四年に私が米国民になりました。そして同じ頃にメリーランド州の西部にある街で家を購入。気づけば米国内で過ごした時間の方が日本で生まれ育った時間よりも長くなっていました。

現在はコロナ禍で、三月半ばからずっと在宅勤務をしています。自分間は飛行機で他州まで行くような出張もなくなり、すっかり地味な生活になっていますが、辛い業務のすべてをリモートでこなすことができる環境なので、遠くに行けない以外には大きく変わったこともなく過ごしています。皆さんもどうぞお元気で！

「関東学院女子短期大学記念奨学金」2019年度報告

関東学院女子短期大学にて利用されていた奨学金を原資とする、関東学院女子短期大学記念奨学金の2019年度の利用状況について大学から報告をいただきました。

第1種(家計急変)	6名	4,899,500円
第2種(留学生)	1名	720,000円
第3種(学業優秀)	8名	800,000円
合計		6,419,500円

また、2018年度については12名に対して4,085,500円の給付を行ないましたが、利息等の他、短大奨学金の返還が続いているため、2018年度の収支は1,928,326円ほどの支出となりました。

2019年度も女子短期大学の流れを汲む人間環境学部、人間共生学部、栄養学部及び教育学部の4学部合同で奨学金を運用させていただいていることを合わせてご報告いたします。

支部活動を応援された方は、香葉会、また事務局に直接お問い合わせください。

残念ながら今年度の西湘小田原・湘南・県央の支部総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止が決定しています。

燦葉会事務局

〇四五―七八四―〇三二〇



昨年の西湘小田原支部総会

緊急学生奨学基金へのご支援を！

『新型コロナウイルスの影響で休学や退学を余儀なくされる学生を一人でも少なくしたい』五月二〇日、大学規矩学長が出したメッセージです。本当に必要なとして、現教職員・学生同士の支援とともに、卒業生からもお力添えを賜りたく、香葉会としてもお願いいたします。

また、長年応援している「ふるさと関東学院募金」「古本募金」そして「横浜・関内キャンパス開設資金」も引き続きご支援の程よろしくお願いたします。

詳細は関東学院大学ホームページ

をご参照ください。香葉会ホームページのリンクからも参照いただけます。

関東学院関連行事について

毎年ご案内している学院創立記念式・シェイクスピア英語劇・学院クリスマスコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響で現時点（七月初め）では未定です。情報が得られ次第、香葉会ホームページでお知らせいたします。また、秋以降、直接香葉会事務局へお問い合わせください。

編集後記

一八号は香葉会の今後について重大発表と、前年に開催した「天城山荘ツアー」をメインに構成し、大学院栄養学研究科新設のニュース、海外からの寄稿もいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、編集委員会も、学院関連行事や燦葉会支部総会も次々に中止という、正に歴史に残る年でした。

編集作業は長年お願いしているハマ印刷さんのご協力もあって順調に進み、会員の皆さまと支えてくださる方のお力があればこそ「香葉」を実現できました。本当にありがとうございます。編集委員一同

香葉会 年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により、令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)のご寄付は683,400円となりました。香葉会の運営費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝します。今後ともよろしく願います。(敬称略・順不同)

Table listing members and donors of the Kaikyukai, organized by region (e.g., 教職員, 磯井野, 磯井野, etc.)

関東学院女子短期大学 香葉会

Financial statement table for Kaikyukai at Kanto Gakuin Women's College, showing income and expenditure for 2019 and 2020.

平成十五年三月の卒業生の会費を最後に、香葉会の会計は皆様の年会費・賛助金をたよりに頑張っています。年間にかかる費用の多くは、機関紙『香葉』の発送にかかります。年会費・賛助金に是非、ご協力をお願い致します。

二〇一九年度決算・二〇二〇年度予算

